

●●さん、こんにちは。●●さんの第2回目のコーチングです。進行状況をみてみますと **listening exercise, grammar, vocabulary, reading** とも前回と同様に順調に進んでいます。リスニングは特に、順調ですね。単語、読解、文法もがんばってください。

**Listening** について

[training]

前回は述べたかもしれませんが、●●さんは大変しっかりした **listening** 能力を持っています。感心しました。留学経験があってもなかなか正確にできない人が多いのですが、大変よい成績です。

Question 4 Nb.5852 


  00:04 

各問いの音声ボタンを押して文章を聞き、カッコ内に入る英単語を解答欄に記述しなさい。

**Q** Sally (**refused**) to return Mike's telephone call.  
**→** サリーはマイクに折り返し電話をかけることを拒みました。

あなたの答え  refuse      答え refused

過去形の **-ed** を聞き逃してしまいました。 **refused** の **d** とその後の **to** がくっついて発音されるので間違いやすくなります。

Question 8 Nb.5866 

  00:04 

各問いの音声ボタンを押して文章を聞き、カッコ内に入る英単語を解答欄に記述しなさい。

**Q** Art was (**at**) its best during the Renaissance.  
**→** 美術はルネサンス期に絶頂期を迎えました。

あなたの答え  add      答え at

これは単なるタイピングの間違いかも知れません。 **at its best** で「絶頂期で」の意味になります。

解説(全問)

Question 1 Nb.5934



音声ボタンを押して文章を聞き、カッコ内に入る英単語を解答欄に記述下さい。

**Q** Since the first cinema opened in Paris in December, 1895, over half a million films have been made, and (shown) in cinemas in every country of the world. In the last ninety years, billions of people have shared the experience of (fear), laughter, love, action, and comedy that films can bring. Billions of people have seen (exactly) the same film in different countries, in different languages, and still (shared) the same feelings. Between 1977 and 1983, for example, it is calculated that (over) one billion people saw the films of just one man, the film-maker Steven Spielberg. These (figures) show how (popular) the cinema has become in ninety years, and how important the film has become in (our) society. It is now accepted as an (art) form in the same way as theater or music, although it has a (shorter) history.

あなたの答え	!	share	答え	shared
--------	---	-------	----	--------

過去完了形の-ed を聞き逃してしまいました。

Question 1 Nb.5935



音声ボタンを押して文章を聞き、カッコ内に入る英単語を解答欄に記述下さい。

**Q** Eating in the Student Center is a pleasant experience. First, the food is excellent. It is well-prepared, it (tastes) delicious, and there are many different kinds of food like hamburgers, tacos, pizza, and chicken. Moreover, each person (serves) himself, (selecting) just what he wants. Second, the environment in the Student Center is positive. Although you can see many young people (talking) and laughing, the atmosphere is still calm. It's (possible) to study and do homework there. Finally, there are many (friendly) people at the Student Center. Even strangers say "Hi!" and offer to share (their) tables. When that happens, it's a good chance to practice speaking English and make (friends). For these reasons, it is (nice) to go to the Student Center cafeteria once in a (while) to enjoy eating, studying, and talking with new people.

あなたの答え	!	taste	答え	tastes
--------	---	-------	----	--------

3人称単数現在のs を聞き逃してしまいました。

Lesson 7 まで終了していますが、間違いがわずかで、しっかりとやられていることがよくわかります。とてもよい調子です。是非最後までこの調子で進めて下さい。

[Exercise]

training と同様がんばっていることがよくわかります。L3で間違いが目立ちましたが、きちんと復習をされています。今の調子でどんどんがんばって完成させていってください。

文法について

task11 まで進んでいますが、今回は task5 までチェックしてみました。

Question 3	Nb.4945	あなたの答え	(B)	答え	(A)	
------------	---------	--------	-----	----	-----	--

各設問のQuestion(Q)をヒントに、下記の英文の空欄に適切な表現を選びなさい。

**Q** 時や条件を表す副詞節の未来の内容を表す時制は？

**スクリーンショット** Please call me as soon as you (arrive) at Narita Airport.

**→** 成田空港に着いたらすぐにお電話ください。

- 選択肢**
- (A) arrive(正解)
  - (B) will arrive

**解説** 時や条件を表す副詞節の未来の内容は未来形ではなく「現在形」で表す。

この問題はある意味で例外規則を扱った問題になります。論理的に考えれば「これから到着する」のですから未来形を使って **will arrive** になるはずなのですが、「時や条件をあらわす副詞節の未来は現在形で表す」という特別ルールです。論理的ではありませんが規則ですので覚える必要があります。もっとも日本語の場合も「着いたら」と過去形になりますので、英語だけの特別ルールではないのかも知れません。

Question 14	Nb.4956	あなたの答え	(B)	答え	(C)	
-------------	---------	--------	-----	----	-----	--

各設問のQuestion(Q)をヒントに、下記の英文の空欄に適切な表現を選びなさい。

**Q** 過去の行為の前に行われた行為を表すのは？

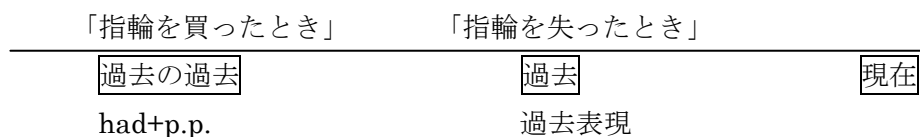
**スクリーンショット** I lost the ring which I (had bought) the day before.

**→** 私は前の日に買ったばかりの指輪をなくしてしまった。

- 選択肢**
- (A) bought
  - (B) have bought
  - (C) had bought(正解)

**解説** 過去の行為の前に行われた行為を表すときは「大過去(had + p.p.)」を用いる。

「指輪を買ったとき」と「指輪を失ったとき」の時間の差を意識して下さい。



私が「すで買った」指輪をなくした、となるはずですので、「指輪を買った時」は[過去の過去→大過去]で表わし、「失った」は[過去]で表わします。

Question 13    No.4975    あなたの答え    (A)    答え    (B)    

各設問のQuestion(Q)をヒントに、下記の英文の空欄に適切な表現を選びなさい。

**Q** 「何本かのチョーク」を英語で表すと？

**スクリーンショット** Could you bring me a few (pieces) of chalk, please?  
→ チョークを何本か持ってきてくれませんか。

**選択肢**  (A) piece  
 (B) pieces(正解)

**解説** chalkは物質名詞で不可算なのでpieceで表す。pieceはa fewを受けてpiecesとする。

日本語の場合はチョークは数えられるイメージがありますが、英語の場合は不可算です。

ここから仮定法の問題になります。仮定法には誤答が多かったので最後に「仮定法」のまとめを載せました。参考にして下さい。

Question 6    No.5008    あなたの答え    (B)    答え    (A)    

各設問のQuestion(Q)をヒントに、下記の英文の空欄に適切な表現を選びなさい。

**Q** 「万一～ならば」を表現するのに用いるのはshallそれともshould？

**スクリーンショット** If it (should) rain, I would stay at home.  
→ 万一雨なら家こいるでしょう。

**選択肢**  (A) should(正解)  
 (B) shall

**解説** should(万一～ならば)で「未来についての仮定」を表す。

仮定法未来と呼ばれている形。日常生活ではあまり使われることが少ない形ですが、文法上はしっかりと理解する必要があります。

Question 9	Nb.5011	あなたの答え	(B)	答え	(A)	
------------	---------	--------	-----	----	-----	--

各設問のQuestion(Q)をヒントに、下記の英文の空欄に適切な表現を選びなさい。

**Q** 仮定法過去完了のI wishの後にくる動詞形はwereそれともhad been ?

**スクリプト** I wish I (~~had been~~) born in the 1980's.  
 1980年代に生まれていたらなあ！

**選択肢**  
 (A) had been(正解)  
 (B) were

**解説** 仮定法過去完了表現はhad beenを用いる。

時制の違いに注意しましょう。

I wish I were born now. (仮定法過去。今生まれるのだったらなあ。) →現在の事実の反対

I wish I had been born in the 1980's. (仮定法過去完了。1980年代に生まれていたらなあ。) →過去の事実の反対

Question 10	Nb.5012	あなたの答え	(A)	答え	(B)	
-------------	---------	--------	-----	----	-----	--

各設問のQuestion(Q)をヒントに、下記の英文の空欄に適切な表現を選びなさい。

**Q** It is time (that)の後にくる動詞はgoそれともwent ?

**スクリプト** It is time I (~~went~~) home.  
 もう家に帰る時間です。

**選択肢**  
 (A) go  
 (B) went(正解)

**解説** It is time that ~ は「もう~してしまってもいい時間だ」の意味で仮定法過去で表す。

この問題は仮定法であらわす特殊表現と考えて下さい。It is time for me to go home なら全く問題ないのですが It is time (that) ...の場合は that 以下を仮定法過去で表わすことになっています。ですから It is time I went home の様な特殊表現になります。「本来はもう家に帰ってはいなくてはいないのに、まだそうしていない」という事実と反対を表わす表現なので仮定法を用いると言われていました。

Question 12

Nb.5014

あなたの答え

(A)

答え

(B)



各設問のQuestion(Q)をヒントに、下記の英文の空欄に適切な表現を選びなさい。



If I were ~を別の形で表すとIf I amそれともWere I?

スクリプト

(Were I) you, I would not do such a thing.

→ 私があなただったらそんな事はしないだろうに。

選択肢

(A) If I am

(B) Were I(正解)

解説

If I wereはWere Iで表すことができる。

仮定法の応用で if を用いずに仮定法を表わす表現です。If を用いずに表わすと Were I となります。不自然に聞こえるかも知れませんが文法上の特別ルールです。

Question 13

Nb.5015

あなたの答え

(A)

答え

(B)



各設問のQuestion(Q)をヒントに、下記の英文の空欄に適切な表現を選びなさい。



If he had p.p.を別の形で表すとHad he p.p.それともIf he has p.p.?

スクリプト

(Had he) driven more carefully, he would not have died.

→ もっと気を付けて運転していれば彼は死ななくてすんだのに。

選択肢

(A) If he has

(B) Had he(正解)

解説

If he hadはHad heで表すことができる。

前の問題と同様に if を使わない仮定法表現です。この場合は仮定法過去完了になります。

## 【仮定法のまとめ】

### ■基本形

以下の3つの違いを理解して下さい。仮定法の理解で一番重要な部分です。

If he is honest, I will employ him.

もし彼が正直ならば、彼を雇うだろう。(彼が正直かそうでないか現時点ではわからない)

(仮定法ではありません。if は仮定法ではなく単なる条件を表わしています。したがって時制は一般の時制と同じです。)

If he were honest, I would employ him.

もし彼が正直ならば、彼を雇うのに。(彼は正直ではない)

= As he is not honest, I don't employ him.

(仮定法過去の文です。全体の時制は過去ですが、**現在の事実の反対**を表わします。)

- If he had been honest, I would have employed him.

もし彼が正直だったら、彼を雇ったのに。(彼は正直ではなかった。)

= As he was not honest, I didn't employ him.

(仮定法過去完了の文です。全体の時制は過去ですが、**過去の事実の反対**を表わします。)

### ■その他の仮定法表現

- Were I in your position, I would study hard.

= If I were in your position, I would study hard.

- Had I been in your position, I would have studied hard.

= If I had been in your position, I would have studied hard.

**If を用いないで仮定法を表わすことができます。**上記の2つの例は接続詞の if をとり、その代わり文頭を倒置して仮定法だという合図を送っていることになります。

- |   |                           |   |                    |
|---|---------------------------|---|--------------------|
| { | If there were no water,   | } | we could not live. |
|   | If it were not for water, |   |                    |
|   | But for water,            |   |                    |
|   | Without water,            |   |                    |

「水がないとするならば」という仮定法表現ですが、4つとも同じ意味です。(仮定法過去)

- |   |                               |   |                          |
|---|-------------------------------|---|--------------------------|
| { | If there had been no water,   | } | we could not have lived. |
|   | If it had not been for water, |   |                          |
|   | But for water,                |   |                          |
|   | Without water,                |   |                          |

「水がなかったら」という仮定法表現ですが、4つとも同じ意味です。(仮定法過去完了)

- |   |                |   |  |
|---|----------------|---|--|
| { | I wish         | } | I could speak English. = I am sorry I can't speak English. |
|   | If only        |   |  |
|   | I would rather |   |  |

「～ならいいのになあ」の意味を表わす仮定法表現です。

- It is (high, about) time you went to bed.

「もう(本来なら)寝ていなくてはいけない時間ですよ」の意味をもつ文。本来の事実と反対なので(まだ寝ていないので)、仮定法表現を用いることになっています。

- If I **should** fail again, I would not try again.

(万が一もう一度失敗するようなことがあったら2度とやらないよ)

If the sun **were to** rise in the west, I would not change my mind.

(太陽が西から昇るようなことがあっても、決して決心を変えないよ)

仮定法未来とも呼ばれている表現です。「(本来なら起こらないが)万一～しても」の意味が含まれて

います。

### ■that 節の中の仮定法現在

仮定法現在は動詞の原形を用いる用法ですが、suggest, demand, order などの動詞や、necessary, essential などの形容詞の後にくる that 節の場合に注意が必要です。

○動詞の場合 He ordered that she (should) come with him.

should を入れなくても文が成立するというのが文法上の曲者ルールです。should が省略可能だと

He ordered that she come with him が文法的に正しい文章になり、逆に

He ordered that she came with him は時制を過去・過去に合わせているのにも関わらず、間違っただ文になってしまいます。このルールは特に日本の大学受験の文法で頻出のルールです。

#### その他の同種の動詞

demand, request, order, command, suggest, propose, insist, recommend など

○形容詞の場合 It is necessary that you (should) be more economical.

#### その他の同種の形容詞

advisable, desirable, essential, imperative, important, proper, right, urgent, vital など

### 単語について

LESSON 5まで進んでいて、少しずつ丁寧にやっていることがよく分かりますが、このセクションは苦手意識があるのかも知れません。よく単語をどうやって覚えたらよいのか分からないという相談が多いので今日は単語の覚え方の話をします。

#### 「単語の覚え方」

単語を覚えなくてはならないことは理解しているし、どのレベルの単語が必要かもわかっているのだけでも、どうやって覚えればいいのか方法がわからないという質問を皆さんからよく受けます。結論で言えば、どんな方法で覚えてもかまいません。でも、筆者自身は単語を覚える方法として次のような意見を持っています。

「すぐに単語を忘れてしまう」という発想を変えて、「覚えたものは忘れるのが当たり前だ」という考え方で取り組むのはどうでしょうか。天才的な人の中には「忘れない方法がある」と書いている人もいますが、凡人の筆者は「覚えてもすぐに忘れて」しまいます。●●さんが筆者と同様に凡人だという前提で「覚える」方法を考えてみたいと思います。

#### 「短い時間を使って何度も覚える」

英単語を机に座って何時間もまとめて覚える方法はお勧めしません。それだけの時間があつたら、読解に時間を使ったほうがよほど役に立つと思うからです。読解は思考訓練ですから、集中して一回に最低1時間は勉強する位の覚悟が必要です。一方、単語は単なる暗記です。筆者の経験ですと、1時間まとめて単語を覚えようとするより、5分を12回に分けて「忘れてしまう」ものを何度も「覚える」ようにしたほうが効率的だと考えます。この5分の意味ですが、5分の時間ならいつでもとれるという意味で使っています。例えば、(1)朝起きて顔を洗う前(2)朝ごはんを食べる前(3)朝ごはんを食べた後(4)家を出る前(5)授業(仕事)が始まる前(6)昼食を食べる前(7)昼食を食べた後、(8)学校(仕事)が終わった後、



(9)家に帰ってすぐ、(10)夕ご飯の前、(11)夕ご飯の後、(12)夜寝る前、もうこれで1時間です。単語の暗記に特別な時間を使わなくても簡単に毎日1時間位は勉強できるのですから、こういう便利な方法を利用しない手はありません。

「きっかけを見つけて覚える」

どんな方法で覚えてもかまいません、と書きました。私自身は高校生の頃、chaos（混沌）という単語を何度覚えても忘れてしまいました。そこで「ケイオスコントン」と一語にしてしまっただけで20回繰り返したら簡単に覚えてしまっただけでそれ以来忘れたことは一度もありません。英語と日本語をくっつけて一語にしただけのことですが人に言いさえしなければ恥ずかしいことはありません。最終的に単語の意味を覚えることができるのであればどんな方法を用いても構わないのです。それでもちょっとは科学的な方法で覚えたいのであれば語源を使った方法がありますので簡単に紹介しておきます。

鉛（なまり）、錫（すず）、鉄（てつ）、銀（ぎん）、銅（どう）などは一般生活でなじみのある漢字ですからたいていの人知っています。それでは鰻（うなぎ）、鯖（さば）、鰯（いわし）、鯰（なます）、鮪（まぐろ）などの漢字はどうでしょう。誰もが知っている魚の名前ですが、日常生活では「カタカタ」や「ひらがな」で書かれている場合が多いので読めないことが多いはずですが、これらの漢字が「𩺰」の名前を指していることを私たちは知っています。それは共通した「偏」があるからで、「魚偏」から魚の名前だろうと想像することができるからです。もちろん鱗（うろこ）のように、魚の名前ではなく、魚の体の一部を表していることもありますが、それでも「魚」と直接に関係しています。

漢字の「偏」を見るだけでおおよその意味を類推することができるように、英語を見てその単語の意味を類推することが可能です。それが語源を使った暗記法です。たとえばRUPTというつづりの入った単語があります。このRUPTはbreak(破れる)、burst(爆発する)の意味を持っています。abrupt(ab 離れて+rupt 破れる)は「離れたところで”突然”破れる」のイメージから「突然の」、corrupt(cor 共に+rupt 破れる)は「すべてが同時に破れる」のイメージから「堕落した」、erupt(e 外に+rupt 爆発する)から文字通り「爆発する」、interrupt(inter 間+rupt 破れる)は「間に入って破る」から「中断させる」と意味を覚えることができます。語源をきっかけとして意味を覚えると同時に、それぞれの単語の同意語 abrupt=sudden=unexpected, corrupt=crooked=wicked, erupt=explode, interrupt=disrupt を同時に覚えてしまえば、RUPTという語源から10の単語を一挙に覚えることができます。(語源部分：拙書「TOEFL®TEST 対策必修英単語」(テイエス企画) P7-8から引用)

現在●●さんがチャレンジしている総合基礎英語コースのWord Checkも同様な主旨で作成されていますので確認してみてください。

#### 読解について

前はL1まででしたが、今回はL4まで進んでいます。復習もきちんとしているようです。読解もこの調子でがんばってください。

以上、2回目のコーチングとします。用語など、よくわからないことがあれば質問してください。これからもできるだけ時間を作り、今の調子で集中して学習を進めてみてください。

高木